

新しい彦根へ。

彦根市議会議員

もりの克彦

かつ ひ こ

ご挨拶

平素は、皆様には格別のご支援、ご高配を賜りまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症による状況が3年経過しました。当初と比べると医療体制や経済状況の混乱は解消されたのかもしれませんが、この3年間の影響で今なお大変な思いをしている市民の方はたくさんいます。市民の安心した生活と安全が確保され、子どもや高齢者が住みやすい彦根市になるよう、私にできることに対して全力で取り組んでいきます。残り数カ月で1期目の任期が終了します。この4年間で学んだこと、経験したことを生かして、彦根市が市民にとって少しでも住みやすい街となるよう、信念をもって、今後も活動していこうと思います。引き続き、皆様のご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

■事務所
〒522-0025
滋賀県彦根市野田山町485
☎ 0749-21-1111
✉ morino@siren.ocn.ne.jp

■自宅
〒522-0007
滋賀県彦根市古沢町480-5
☎ 0749-46-5546

- ▼略歴
- 滋賀県立米原高等学校 理数科 卒業
 - 兵庫県立神戸商科大学 商経学部 経済学科 卒業
 - 滋賀大学 大学院修士号取得(経済学)
 - 滋賀大学 大学院修士号取得(経営学)
 - 森野税理士事務所 ●彦根市議会議員

もりの克彦 検索
<http://morino-katsuhiko.com>



活動報告



10/25(火) ~ 10/27(木) 企画総務消防常任委員会 行政視察

1日目 茨城県 ひたちなか市

国民体育大会における主会場としての役割や対応について

2019年茨城国体において主会場として対応にあたった、ひたちなか市に当時の様子や事前の準備態勢、課題や問題点などを確認し、2025年に開催される『国スポ・障スポ 滋賀大会』の主会場となる彦根市がこれからのような準備を進めていく必要があるのか、その課題と対応策、滋賀県との役割分担について視察・調査を行った。一番の問題である交通渋滞であるが、その緩和のために彦根インターから外町の交差点を通らず直接、競技場へつながるトンネルが建設されたり、主会場近隣のアクセス道路を拡充したりと準備は進むが、あと3年でやるべきことは多く、課題の解消と大会の成功に向けて更なる準備と対策を進めていく必要がある。

2日目 神奈川県 横浜市

横浜市民防災センターについて

この施設は昭和58年に市内唯一の防災教育施設および特別消防隊の庁舎として開設されその後、平成7年に体験型施設となり平成28年に全面リニューアルされ現在の施設となった。水災害体験装置は企業版ふるさと納税の寄付で購入されたもので、水深30cmでの扉の開閉がどれだけ困難かを体験できたり、水深30cmの水の中を歩行する体験ができるものでした。屋内施設は地震の体験や火災時の避難体験など様々な体験を通じて防災の知識や意識の向上を目的とする施設であり、市内小中学校の児童生徒や市民に広く利用され防災意識の向上と防災の知識の習得を目的に活用されています。災害が少ない滋賀県ですが、近年ではこれまで起こり得なかった地域での災害も多発している現状があり、もしもの時に備えた準備と正しい知識・正しい行動を身に付けておく必要があり、今後の彦根市の防災対策や防災教育の在り方について見直す必要があると感じました。

3日目 静岡県 御殿場市

ふるさと納税自動販売機の設置について

御殿場市はふるさと納税の寄付額は、令和元年度の約5億8千万円でしたが、令和3年度には約13億9千万円へと増加しました。ふるさと納税の自動販売機を市内9カ所あるゴルフ場のうち現在3カ所に設置されその場で利用できるプレー券がもらえます。また、御殿場プレミアムアウトレットにも設置されており、その施設で利用できるお食事券が有効期限なしで配布されます。このように、ふるさと納税ができる自動販売機を設置することで、順調に寄付額が増加しています。彦根市でも市外、県外から彦根城に観光に来られた方が、その場で気軽に自動販売機でふるさと納税ができ、市内の宿泊施設や飲食店、土産物屋さんで利用できる割引券などを配布して、地域の経済を活性化することが必要であり、実現可能であると感じました。

9/30(金) ~ 10/2(日) 会派公政会 行政視察『とちぎ国体2022の開会式と主会場としての役割について』

2022年10月1日(土)に開催されました『いちご一会とちぎ国体』の開会式とその周辺整備の状況について会派での視察に行ってきました。彦根市では2025年の国スポ・障スポの主会場として開会式が開催される市として現在、会場施設の建設やアクセス道路の整備やトンネルの整備が行われており、新市民体育センターは12月に完成し、外町の交通渋滞緩和のトンネルも無事開通し、主会場の陸上競技場も着々と工事が進んでいます。実際の開会式の当日の状況を体験することで問題点や今後の改善点などが確認できました。当日は天気も良く、コロナ禍で中止となっていた天皇皇后両陛下の地方訪問が2年8カ月ぶりに再開されることもあり、想像以上の込み具合と盛り上がりでした。2025年に行われる滋賀県の国スポ・障スポの成功と彦根市の地域活性化のために今後の対策等についてさらに検討していく必要があります。



次回の定例会の予定

【2月定例会】

- 2月27日(月) 開会 (市長提案説明)
- 3月6日(月) 質疑・一般質問(個人質問)
- 7日(火) 質疑・一般質問(個人質問)
- 8日(水) 質疑・一般質問(個人質問)
- 10日(金) 予算常任委員会(企画総務消防所管分)
- 13日(月) 予算常任委員会(市民産業建設所管分)
- 14日(火) 予算常任委員会(福祉病院教育所管分)
- 15日(水) 市民産業建設常任委員会
- 16日(木) 企画総務消防常任委員会
- 17日(金) 福祉病院教育常任委員会
- 20日(月) 本会議 (追加議案上程・予算常任委員会)
- 24日(金) 閉会 (委員長報告、質疑、討論、採決)

森野税理士事務所

日本税理士会連合会 近畿税理士会第139774号 日本税理士政治連盟

～法人税申告、所得税申告、消費税申告、相続税・贈与税申告、事業承継等～

事務所にて各種相談等受けておりますのでお気軽にご相談ください。

平日 9時00分～17時00分
彦根市野田山町485番地
土日祝 休み
連絡先 電話 0749-21-1111
FAX 0749-21-1110
メール morino.tax.a.30007@gmail.com



2022年9月定例会一般質問Q & A

一般質問の詳細について
[発言順位3番目]

1 償却資産の申告について

令和元年6月定例会にて償却資産の申告が適正にされているのか、また、されていない場合にはどのように対応しているのか、今後の申告漏れ防止と適正な申告に向けての対策等をお聞きしました。7月に彦根市税務課長より近畿税理士会彦根支部長宛に「償却資産の調査に関する協力について」という書面が届き、われわれ会員に対しての周知文が届きました。その内容は、「公正な課税を行うために、償却資産の申告書を提出する義務があるのに提出していない者に対して、提出依頼文を発送するということ。また、再三の提出依頼をしても提出されない場合は、税務署等の資料によって賦課決定(推計課税)を行う予定である」という内容でした。現状と対策の効果等について伺います。

(1)償却資産の申告について

①償却資産の申告状況は

法人・個人事業主5,048件のうち、令和4年1月31日の申告期限までに申告された件数は3,735件(約74%)である。その後9月5日までに1,022件申告され、全体として4,757件(約94.3%)が申告済みである。

③提出期限までにどれだけ提出されたのか

前年は開業された67件の事業者のうち、対象資産を保有する9件の事業者全ての対応が完了した。

⑤前年以前に提出があった事業者が未提出の場合、増減なしでの推計課税は公平か

資産の増加があった場合は公正な課税にはならないので、税務署からの情報により資産状況を確認した推計課税を行う必要がある。

②依頼文は無申告の事業者全員に発送したのか

新たな無申告者を発生させないことや、新規の事業者に制度を理解してもらうために、令和3年中の新規開業者を対象に送付している。

④それでも未提出の場合の対応は

10月上旬に申告督促を行い回答が無ければ10月下旬に推計課税による税額を知らせ、それでも反応がなければ11月上旬に税額決定を行い納税通知書と納付書を発送する。

⑥実地調査を行うことで不正申告の抑止力につながるかと考えるが見解は

現在は税務署からの情報による資産状況の確認を行うのみであり、資産の実態調査は行っていない。

主管課：税務課
答弁者▷総務部長

2 猿ヶ瀬川の改修工事の進捗と今後の予定について

令和元年9月定例会にて佐和山学区の猿ヶ瀬川の改修工事に伴う通学路の安全対策についてお聞きしました。工事完了には6年ほどかかるとお聞きしていましたが、現在の進捗状況と今後の改修予定などについて伺います。

(1)猿ヶ瀬川の改修工事の進捗と今後の予定について

①当初の予定通り工事は進んでいるのか

駅東町から東中学校付近までの当該事業実施区間1,070mのうち、安清跨線橋付近から上流へ約227mについては昨年度までに整備を完了している。今年度は、近江航空踏切付近市道の横断部約20mと、安清跨線橋付近の一部開渠となっている未改修区間約40mの整備を行う予定であり、これが完了すれば整備の進捗率は27%となるが、**当初の予定よりも進捗は遅れている。**

②完成までの工事スケジュールは

市街地内での整備であり、用地の確保や沿線の鉄道への配慮など課題があることに加え、厳しい財政状況であり完成までの具体的なスケジュールは示せないが、できるだけ早期に完成できるように進めていく。



③道路が広がったことにより自転車の通行量が増加しているが安全対策は

侵入箇所への車止めポールや注意喚起の看板などの設置を検討している。

主管課：道路河川課
答弁者▷都市建設部長

3 子どもの安全と未来のために

近年、記録的な大雨や短時間での大雨などが全国各地で発生することが多くなり、各地で冠水や河川の氾濫などが発生しています。7月19日、大雨で近江八幡市の冠水した地下歩道で72歳の女性が亡くなりました。便利な抜け道として各地に存在するアンダーパスも大雨の際は非常に危険であることが指摘されています。草津市でもJR琵琶湖線の線路下を通る道路が冠水し乗用車が動けなくなり35歳の母親と7歳の女の子が救助されました。その他、全国でも同様の事故が起こっています。滋賀県内には同じような構造のアンダーパスが150力以上あるということです。今回の事故では歩道を管理する滋賀県や近江八幡市は現場のカメラで推移の変化を確認できる状況にありましたが、通行止めにしたのは女性が巻き込まれた後で、行政の対応の遅れも指摘されています。

(1)大雨時のアンダーパス・地下道の安全性について

①彦根市内には今回事故のあった近江八幡市と同じような構造のアンダーパスはあるのか

同じ構造のアンダーパスは市内に15箇所あり、うち4箇所は本市が管理している。(古沢町地先のJR横断箇所・小泉町地先のJR横断箇所・県道彦根環状線横断箇所・金沢町地先のJR横断箇所)

③今回の事故を受け彦根市がとった対応は

以前より管理するアンダーパスや地下道は週に一回、職員のパトロールにより損傷や照明灯、帯水や冠水などの確認を行っている。今後、特に大雨時には早めの状況確認を行い安全性の確保に努めていく。

⑤JR東海道線をくぐる

古沢町と船町を連絡する地下道の対策の進捗は

- ・つなぎめからの**漏水箇所の補修工事**を令和4年3月及び6月に実施し、その後の状況を観察している。
- ・防犯対策としての**照明灯のLED化**については蛍光灯の在庫がなくなり次第変更する。
- ・地下道内を明るくするための**壁面塗装**についても早期の実施に向けて検討していく。

②その他類似する危険性の高い地下道などはどれくらいあるのか

甲田町地先の東海道新幹線横断箇所は周辺地盤より道路が低くなっており、冠水する可能性が高いと考えている。

④彦根市での事故防止のための対策は

冠水時の注意喚起や緊急連絡先を示した看板の設置を行い、地下道壁面には水位ラインの表示についても検討していく。



(2)近江鉄道ひこね芦川駅付近のJRおよび近江鉄道高架下の道路について

令和3年6月定例会で当該箇所の危険性について写真で説明させて頂きました。市長も現地視察をされてその危険性を認識して頂きましたが、抜本的な対策は多額の予算を要するため早期の事業化は困難であり、既存施設内で実施できる対策を検討し実施していきたいとの回答を頂きました。

①実施できそうな対策案は

抜本的な対策としては、鉄道と道路の立体交差化により、歩道と車道を分離し、歩行者および通行車両双方の安全性を図る道路改築が有効であると考えその構想を持っているが、多額の事業費、用地確保等の問題から早期の事業化は困難である。よって、当面の対策として、鉄道高架下から佐和山小学校方面への見通しを確保するため、区画線を引き直し、高架下からの直線区間が確保できるよう検討を行っている。

②対策の実施予定は

現在、今年度の実施に向け彦根警察署と協議を行っている。

③発光カーブミラーの設置を検討してみたいは

藤枝市は民間と共同で開発したAIと運動した発光カーブミラーを全国で初めて導入しました。人工知能(AI)と運動した監視カメラで交差点に進入する車両を識別し、鏡の回りや鏡面の発光ダイオード(LED)を点灯させるシステムで、交差点への車両接近を知らせ、別の車両や歩行者らに注意を促す効果があり、実証実験では設置前と比べて通過車両の速度抑制効果が確認できたとして今後増設していく方針を示されています。当該道路は狭く見通しが悪いことから、発光カーブミラーなどを設置し、視覚的に注意喚起を促す対策は有効な手段であると考えられるため、現在の対策案と同時に検討していく。



(3)学習端末を使いたいじめについて

2020年以降、全国の小中学校に一人一台配備された学習用端末を使いたいじめが、全国の主要109自治体のうち、少なくとも25自治体で47件あったと新聞社の調査で発表されていました。

①彦根市の小中学校で学習用端末を使いたいじめはあったのか

本市では、類推しにくいID・ユーザー個別のパスワードを設定していることや、児童生徒だけのチャット等によるコミュニケーションが取れないように設定する対策を実施していることから、学習用端末を使いたいじめの報告は受けていない。

②今後必要となる対策や課題は

今後は、各学校と情報共有を行いながら、フィルタリングの見直し等、技術的な対策と、情報モラル教育の充実に向けて取り組みを推進していきたいと考えている。

2022年11月定例会一般質問Q & A

一般質問の詳細について
[発言順位3番目]

1 彦根市清掃センターの休日のごみ等の持ち込みについて

主管課：清掃センター
答弁者▷市民環境部参事

長浜市や愛荘町など近隣他市町では、土曜、日曜、祝日など、休日のごみ等の受け入れを月一回程度実施したり、年に数回の受け入れを行っている自治体もあります。ある82歳の高齢者の女性から、高齢者となり免許を返納して車に乗れなくなり、平日は仕事で行けない息子に休日にごみの持ち込みを頼むが、持ち込みできる日がなく困っている。とのご意見をいただき、また、婦人会の方々からも同じような意見をいただきましたので彦根市のごみ等の持ち込みの現状について質問します。

(1)彦根市清掃センターの休日のごみ等の持ち込みについて

①休日のごみ等の受け入れは可能か

現在、3カ月に一回の年4回、日数では5日の受け入れを実施している。

3月	月末の最終日曜日の午前中(8時～11時)
6月	月末の最終土曜日の午前中(8時～11時)
9月	月末の最終土曜日の午前中(8時～11時)
12月	29日・30日の午前中(8時～11時)

④令和5年の3月・6月・9月・12月の受け入れは可能か

令和4年～6年の3年間、大規模な長寿命化改修工事を行っているため工事の工程が進まないという詳細は分からないが、調整がつけば例年通り実施する方向で検討していく。

⑥高齢者等の支援の現状は

粗大ごみの戸別収集は有料となっているが、高齢者の粗大ごみの免除や減免は、それが自身の物かどうか、判断が困難なこともあり難しいが、料金体系も含め今後検討していく必要があると考えている。

2 市街化区域と市街化調整区域について

主管課：都市計画課・農林水産課
答弁者▷歴史まちづくり部長・農業委員会会長・産業部長

市街化区域とは市街化を活性化する地域のごとで、住宅街や商業施設などがある市街化された区域、またこれらを概ね10年以内で市街化を進める区域で、住宅なども許可なく建築することができます。一方で、市街化調整区域とは市街化を規制する地域のごとで、住宅や施設などを積極的に作って活性化を行わない地域のごとで、住宅や商業施設などを建築することが原則として認められていません。彦根市内にも市街化区域と市街化調整区域があると思いますが、市街化区域での活性化が適正に行われているのかなどその現状や、市街化調整区域での農業が困難であるため荒れ地となって放置されている箇所が多く存在するなどの問題について市の見解と今後の対策について質問します。

(1)市街化区域と市街化調整区域について

①いつどのような目的でできたのか

都市の急速な発展により、市街地が無秩序・無計画に広がっていくことを防ぎ、健全で秩序ある発展を図るため、昭和46年6月に彦根長浜都市計画の区域区分として定められた。

③特に開発が遅れている地域はどこか

正法寺町や野田山町に工業の用途地域に空地が残っている。

⑤区域の見直しや変更は可能か

見直しについては、滋賀県により都市の現状、都市化の動向等について基礎調査としてデータを把握し、これに基づいて定期的に見直しが行われている。前回は平成27年度から28年度にかけて実施され、今回の見直しについては、令和5年度から6年度にかけて実施されるが、見直しの可能性については基礎調査の結果次第となる。

⑦問題解決に向けた彦根市の今後の対策の方向性は

地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、国においても、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化等に向けた取り組みを加速化することが喫緊の課題であるとして、農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が本年5月に成立した。この改正法では、地域の話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定め、それを実現すべく地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを利用した農地の集約化等を進めることとされている。その実現に向けて、遊休農地を含めた地域内の農地の集積・集約化を図っていく必要があると考えている。

3 都市計画決定されている旭森公園の整備について

主管課：都市計画課
答弁者▷歴史まちづくり部長

彦根市では都市計画法に基づき都市計画決定された公園があり順次整備が進められています。公園は子どもや高齢者、子育てをする保護者にとっても重要な場所であり、その地域に住む人たちにとって憩いの場所です。彦根市の代表的な都市計画公園として、金亀公園、荒神山公園、福満公園、庄堺公園などがありますが、これらは国道8号線よりも西側にあります。旭森学区は以前より子どもの数も多く、近年では住宅も増加し、子どもや高齢者の数も増加傾向にあります。旭森学区や高宮学区に住む市民が身近に利用できる大きな公園を国道8号線よりも東側の地域に新たに計画して整備してほしいとの声もよく聞きますが、まずは、現在計画決定されている公園の整備を先に進める必要があると思ひ質問します。

(1)都市計画決定されている旭森公園の整備について

①旭森公園が都市計画決定されたのはいつか

昭和42年9月23日である。

②旭森公園の整備率は

公園の計画決定面積は1.3ヘクタールで、その内の0.1ヘクタールを昭和43年4月1日に供用開始しており、整備率は約7.7%である。

③都市計画決定されている市の公園全体の整備率は

66.7%である。

④他の公園と比べて整備率が低いのはなぜか

旭森公園は山と一体の公園として計画しており、未整備地の山は自然の状態で緑地としての機能があるから、今は整備の計画はない。

⑤旭森公園の今後の整備の可能性は

未整備地の山についても、健康活動のために登山道を整備することもあるため、その必要性が地元・市と共有されて**整備の優先度が高くなれば整備の実施も十分に**あると考えている。

②どれくらいのごみが持ち込まれているのか

休日の受け入れは平日の約2倍となっている。

③回数の増加、受入れ時間の延長はできないのか

清掃センターは限られた人員体制で日常業務を行っている。休日の受け入れには平日以上の人員体制が必要であり、休日の受け入れ回数を増やすと、平日に休暇を振り替えることになり、平日の業務に影響が生じるため現状では難しい。時間の延長も、当初9時～12時であったが、センター周辺で渋滞が発生し近隣商業施設や通行者から苦情があり、商業施設の営業時間や交通への影響が最小となるよう現在の時間に行っているため難しい。

⑤周知はどのようにしているのか

広報による事前案内と市のホームページをわかりやすく更新して周知している。

⑦新施設では休日のごみ等の受け入れはどうなるのか

建設が予定されている**新施設**では、**毎週土曜日**、粗大ごみを受け入れられる方向で進めていく。



所属会派は
公政会
です。

所属
委員会

- 企画総務消防常任委員会
- 広報委員会
- 決算特別委員会

ライブ配信・録画配信で視聴していただけます。